

所報ふくしま

窓

福島県教育センター

「窓」に寄せる思い、
教育に寄せる心を開く小さな「窓」
小さな「窓」から広がる教育の世界が見えてきます。



「知」と「情報」の共通基盤をつくる

所長 新井田 大

所報ふくしま「窓」は、昭和46年4月25日に創刊された「所報」にその源があり、平成19年3月には150号を発行することができました。この間、教育センターの事業、特に教育内容・方法に関する研究、研修や教育に関する資料情報等を先生方にお知らせすることを使命としてきました。

創刊された年の4月1日には、福島県理科教育センターをさらに発展させ、教育関係者待望の福島県教育センターが発足しています。事業内容・組織・規模・施設設備等どれも全国屈指のものでした。創刊号に寄せられた、当時の県教育長はじめ小学校・中学校長会長及び高等学校長協会長の祝意、教育センター所長の巻頭言には、「深い教養と使命感を持った教師を育てる。」「魅力的な研修を提供する。」「教育に関するサービス機関となる。」など、教育センターが福島県の教育の向上に果たすべき役割が率直に期待を込めて述べられています。

爾来36年、教育センターの果たすべき役割はさらに増大しています。今、教育の「質の向上」を目指し多様な事業を推進していく上で、多くの「知」を集め、自ら「知を創造」し、そしてそれを「情報」として伝え「共有」するこ

との重要性を特に強く感じています。

このことを勘案し、今回から、「窓」は「リーフレット」と「Web」を共に活用する形で発行することとしました。リーフレットは福島県内のすべての公立学校教職員に直接お届けします。そして、リーフレットの内容をさらに詳しくWebで見ることができるようにしました。「窓」が福島県の教育を支える「知」と「情報」の共通基盤をつくる上で大切な役割を果たせるよう、さらに育てたいと考えています。ご活用よろしくお願いいたします。

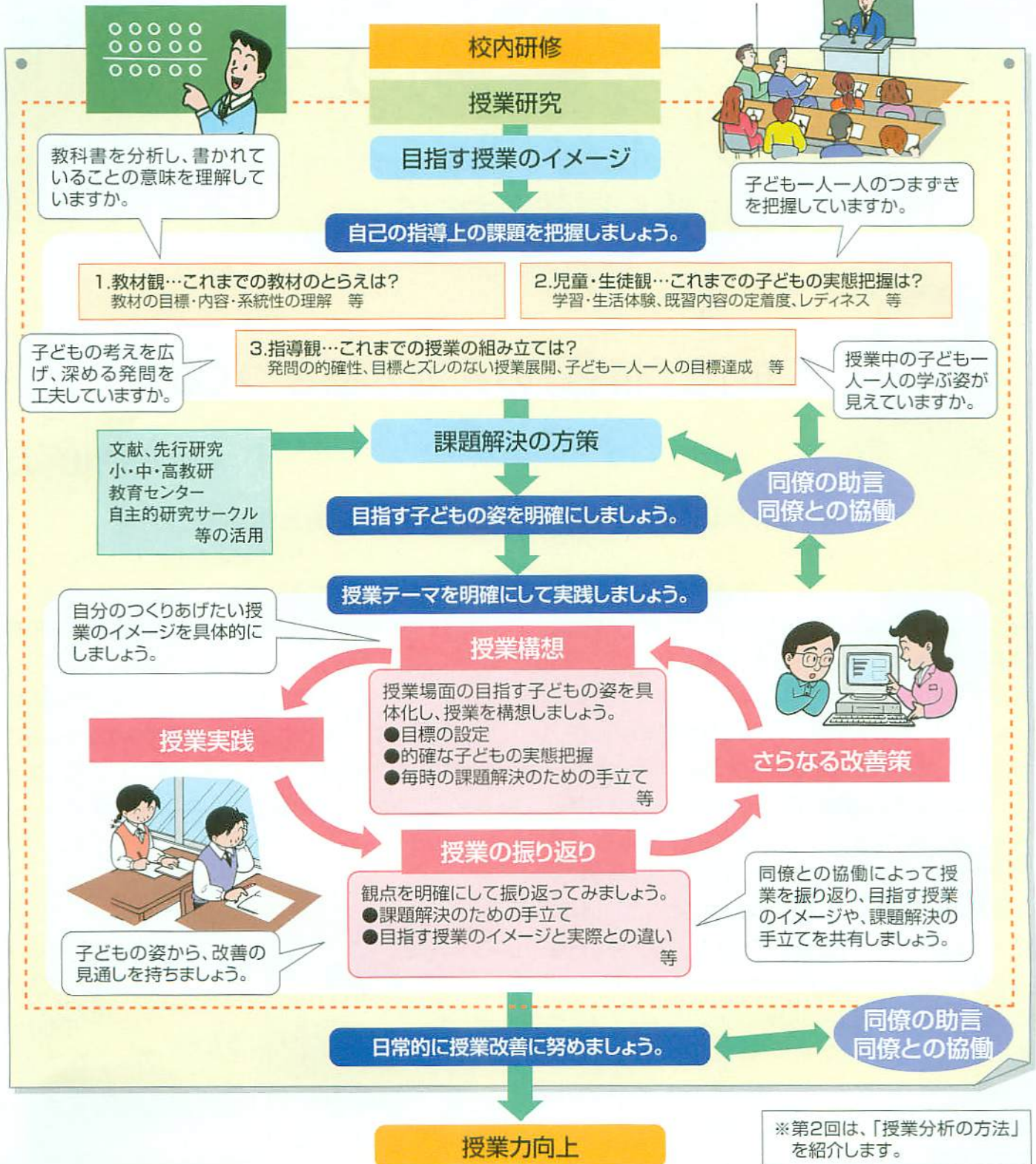


<第1回「授業研究の進め方」>

毎日の授業で「子どもの学びが深まらない。」「思うような学力向上の効果が表れない。」などの悩みはありませんか?本連載では、教師個々の授業力向上を目指した校内研修の充実のために必要な視点や、具体的な授業分析の方法等を考えていきます。

向けて、教職員の協働性を生かし、校内研修を効果的に進めていく必要があります。そこで第1回は授業力の向上を図る上でもっとも有効な手段である授業研究について、授業を行う際の基本である「三つの観」の見直しから課題を明らかにし、その解決に向けた一般的な進め方を紹介します。

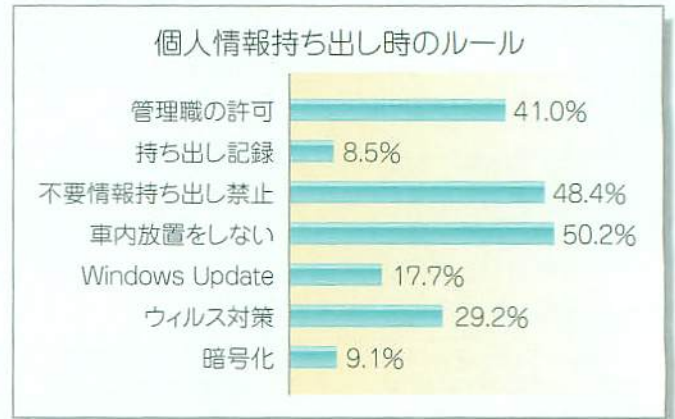
授業力の向上を図るためには、教師個々の課題解決に



1 個人情報保護対策は十分ではない!?

今年度、情報教育チームが県内のすべての公立学校を対象に実施した「平成19年福島県の情報教育の実態等に関する調査」によると、「個人情報の持ち出し時のルール」に対して、持ち出しを認めている学校(51.0%)の約半数が「車内に放置をしない。」「不要な情報は持ち出さない。」「管理職の許可を得る。」といった規定を取り入れています。しかし、「持ち出し記録による責任追及性の向上」「ウイルス対策の徹底」「万が一の流出に備えたデータの暗号化」について取り組んでいる学校は少なく、右のグラフにあるすべての項目を取り入れている学校は、8校だけでした。このままでは「対策が不十分な領域＝セキュリティホール」となり、流出の危険性につながります。

ここでは、学校で取り組まれている個人情報保護対策を



さらに強固なものにし、先生方が個人でも取り組むことができるセキュリティ対策について紹介いたします。

2 個人情報情報は「物理的対策」で守ろう!

学校における個人情報流出事故の二大原因に盗難、紛失が挙げられます。これらに対しては、物理的に第三者が利用できないようにする「物理的対策」が有効です。

当たり前のことですが、継続することが重要です。

(1) 個人情報を持ち歩かないようにしましょう。

→ 保有個人情報を所属外に持ち出す必要があるときは、必ず管理職の許可を得、必要最小限にしましょう。

(2) 持ち出すときは、個人情報を常に身に付けておきましょう。

→ 最低限「移動中はパソコンを常に持ち歩く」「ネックストラップ等を活用し、USBメモリを常に身に付けておく」ことを守りましょう。

(3) 施錠可能な場所に保管しましょう。

→ 外から見える場所にパソコンやUSBメモリを絶対に放置しないようにしましょう。

3 個人情報情報は「技術的対策」で守ろう!

コンピュータウイルス感染や万が一の事故による流出を防ぐには、「技術的対策」によるウイルス感染防止、第三者による不正アクセス防止が有効です。

(1) 自宅PCにウイルス対策ソフトを導入し、毎回最新の状態にしておきましょう。

→ 自宅で感染し、校内LANにまで広がってしまうケースが見られます。
コストをかけられない方は、無料で使えるソフト(個人使用限定)もあります。

(2) 自宅PCのWindows Updateを「自動更新」に設定しましょう。

→ 簡単な設定で、自動的にWindows Updateを更新することができます。ウイルス対策ソフトとの併用によって効果を発揮します。

(3) 個人情報データを暗号化し、万が一の流出に備えましょう。

→ セキュリティ対策に絶対はありません。万が一の流出時に第三者が容易にアクセスできないよう暗号化を取り入れましょう。そのときに設定するパスワードは他人に類推されにくいものにするのが重要です。



カリキュラムセンター通信

平成17年7月にオープンしたカリキュラムセンターは、県内の先生方や学校が日常の教育活動でお困りのことについて相談や支援を行う教育センターの新しい窓口として、開設3年目を迎えました。

今年度は、年度初めにカリキュラム相談室をリニューアルすると共に、eラーニング機能を取り入れて機能の充実を図るなど、特にネットワークの構築と活用に力を注いでおります。先生方のたくさんの御利用をお待ちしております。

◇カリキュラムセンターで行う相談・支援内容は…

- ① 学校教育に関する相談に応じます。
- ② 教育研究を支援します。
- ③ 各種資料を提供します。
- ④ 学校と教育関係機関とをつなぎます。

カリキュラムセンターの詳しい業務内容につきましてはWeb版の「窓」に掲載しました。御覧ください。

◇講座聴講で教科の専門性、指導力アップを…

今年度は新たに追加となった1講座を含めて79講座の聴講を受け付けています。講座の確認は、各学校に配付した「聴講できる講座一覧」を御覧ください。センターのWebページでも講座一覧の確認ができます。講座聴講の申込みについては、講座実施期日の1週間前までに所定の聴講申込書に必要事項を記入の上、送付してください。FAXでも可能です。

〈申込先〉企画振興チームあて **FAX:024-554-1588**

◇速報!平成19年度福島県教育研究発表大会の開催日・会場が決定

今年度の県教育研究発表大会は平成20年1月25日(金)に須賀川市文化センターを会場として開催いたします。県内小・中学校、高等学校の優れた教育実践とセンター所員の研究の発表を予定しております。御期待下さい。

「教科外教育チーム」カリキュラムセンター支援事業のご紹介

各学校、各研究会等に赴き、組織マネジメント、道徳、特別活動、キャリア教育に関する内容の講義等を行います。

「自校の特色を出す具体策は?」「話し合い活動を活発にしたい!」「キャリア教育って何?」これらの課題解決のためにお手伝いをします。

※詳細等の問い合わせは

教科外教育チームへ(024-553-3141)

※講義の依頼は

カリキュラムセンター(企画振興チーム)へ

(024-553-3141)

—実践に役立つ教育資料のご紹介—

これからの義務教育と学校力の構築

財団法人 学校教育研究所(2007年5月)

組織マネジメントで学校をどう活性化させるか、学校の教育課程経営の充実方策をどう進めるか、教師の指導力向上に向けてどう取り組むかなど、今、学校にとって必要な基本の課題に絞って、各方面からの提言がなされています。

「読解力」を育てる総合教育力の向上に向けて

Benesse教育研究開発センター(2007年4月)

「PISA型読解力」を育てるには、まず管理職が研修や体制づくりによる校内環境整備を行い、次に教師が協力して教育課程に位置付けて総合的な言語力を計画的に育成し、さらに、保護者が児童生徒への読書や調べ学習への支援をしていくこと等が必要であると述べています。また、終章では「読解力」向上のための提言10か条を挙げています。

※その他、教育センターで受け入れた研究紀要や教育資料から五つを所報ふくしま「窓」Web版にて紹介しております。

自主講座のご案内

～親子サイエンス～

8月18日(土)、8月19日(日)

場所:教育センター



親子がものづくりや自然体験を通して、科学の不思議や素晴らしさを直接体験し、親子の触れ合いの中で、子どもたちの科学に対する興味・関心を高め、科学的な素養を育成することをねらいとします。

～子どものためのロボットワークショップ～

7月21日(土) 場所:教育センター



中学生を対象としたロボットを制御するプログラミング言語の基礎を学ぶための講座です。専門知識は必要ありません。また、将来ロボカップジュニアなどの競技会に出るためのアドバイスなども行います。

※詳しくは、所報ふくしま「窓」Web版をご覧ください。

長期研究員だより

今年度も、10名の研究員が豊かな教育実践に生かせる研究に取り組んでいます。研究内容は、所報ふくしま「窓」Web版をご覧ください。

所報ふくしま「窓」web版 (<http://www.center.fks.ed.jp/mado/>)

編集発行/福島県教育センター
〒960-0101 福島市瀬上町字五月田16
TEL.024-553-3141 FAX.024-554-1588
<http://www.center.fks.ed.jp/>

印刷所/株式会社阿部紙工
〒960-2195 福島市庄野字柿場1-11
TEL.024-593-5111 FAX.024-593-5740



この冊子は、古紙配合率100%白色度82%再生紙を使用し、環境にやさしい大豆インクを使用しています。